

第 92 回コーデックス連絡協議会 資料一覧

資料番号	資料名
1	議事次第
2	委員名簿
3-(1)	第 43 回総会 (CAC) 仮議題
3-(2)	第 43 回総会 (CAC) 主な検討議題

第92回コーデックス連絡協議会

日時：令和2年9月17日（木）

14:00～14:50

場所：ウェブ開催

議 事 次 第

1. コーデックス委員会の活動状況（今後の活動について）

- ・ 第43回総会（CAC）

2. その他

コーデックス連絡協議会委員

(敬称略 50音順)

- あまがさ けいすけ ○ 特定非営利活動法人 日本消費者連盟 共同代表運営委員
天笠 啓祐
- ありた よしこ ○ 主婦連合会 会長
有田 芳子
- おおた ひろみ ○ 一般社団法人 食物アレルギーフォーラム 理事長
太田 裕見
- おにたけ かずお ○ 日本生活協同組合連合会 品質保証本部 総合品質保証担当
鬼武 一夫
- くまがい ひ と み 日本大学 生物資源科学部 生命化学科 教授
熊谷 日登美
- こばやし ゆう ○ 全国農業協同組合連合会 畜産総合対策部 品質・表示管理室長
小林 優
- すがぬま おさむ ○ 国際酪農連盟日本国内委員会事務局 事務局長
菅沼 修
- せぐろ かつや ○ 一般社団法人 日本食品添加物協会 常務理事
脊黒 勝也
- たなか ひろゆき ○ 東京家政学院大学 人間栄養学部 学部長
田中 弘之
- つるみ かずひこ ○ 公益社団法人 日本食品衛生協会 公益事業部長
鶴身 和彦
- とべ よりこ ○ 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
戸部 依子 NACS 消費生活研究所 所長
- ひろた ひろこ ○ 一般社団法人 全国消費者団体連絡会 政策スタッフ
廣田 浩子
- やまぐち りゅうじ ○ 一般財団法人 食品産業センター 海外室次長
山口 隆司
- よしいけ のぶお ○ 青森県立保健大学 健康科学部 栄養学科 教授
吉池 信男

※氏名右欄の○：第92回コーデックス連絡協議会のウェブ出席者

**FAO/WHO 合同食品規格計画
第 43 回 総会**

日時 : 2020 年 9 月 24 日 (木) ~26 日 (土)、10 月 12 日 (月)、19 日 (月)
バーチャル会合形式にて実施

仮議題

1	議題の採択
2	第 78・79 回執行委員会の報告
3	執行委員会小委員会「コーデックスとパンデミック－戦略的課題と機会」に関する中間報告
4	手続きマニュアルの修正
5	コーデックス文書の最終採択
6	ステップ 5 でのコーデックス文書の採択
7	既存のコーデックス文書の廃止
8	新規作業の提案
9	作業の中止
10	コーデックス規格と関連文書の修正
11	コーデックス部会から総会への付託事項
12	コーデックスの財政及び予算に関する事項:2018-19 年の報告、2020-2021 年の進捗及び 2022-2023 年の提案
13	地域調整国の任命
14	コーデックス部会の議長を指名する国の指定
15	その他の作業
16	報告書の採択

FAO/WHO 合同食品規格計画

第 43 回総会の主な検討議題

1. 日時

2020 年 9 月 24 日（木）～26 日（土）、10 月 12 日（月）、10 月 19 日（月）

バーチャル会合形式にて実施

2. 主要議題の検討内容

仮議題 2. 第 78・79 回執行委員会の報告

前回の総会以降に開催された第 78 回執行委員会（2020 年 2 月）及び第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）の報告。情報収集に努め、適宜対処したい。執行委員会の議論を踏まえて検討することになっている主要事項について、各関連議題において適宜対処したい。

仮議題 3. 執行委員会小委員会「コーデックスとパンデミック－戦略的課題と機会」に関する中間報告

（概要）

COVID-19 のパンデミックの影響を受けて本年に予定されていたコーデックス部会が延期になっている状況を受けて、南西太平洋地域代表（豪州）とアドバイザー（NZ 第一次産業省の Raj Rajasekar 氏）が執行委員会に討議文書「コーデックスとパンデミック：戦略的な課題と機会」を提示し、このパンデミックがコーデックスの作業管理に及ぼす影響に関する広範な分析の実施やバーチャル会合等の新しい方法の活用の検討等について提案された。第 79 回執行委員会は、執行委員会の下に小委員会を設置し、検討を開始する

ことに合意した。

現在、小委員会において、バーチャル会合やハイブリッド会合（会合への物理的な参加とバーチャル参加）への参加の制約・障害、その解決策、コーデックスコアバリュー（透明性、協調性、包括性、コンセンサス形成）の観点での有用性等について、整理を進めており、その中間報告が行われる予定。

（対処方針）

コーデックスの部会のうち、特に議題数の多い、メンバーにとって極めて重要で、技術的な内容を議論する部会を完全なバーチャル会合に切り替えることはコンセンサス形成の観点で困難な面があることから、現行手続きルールの下で物理的な会合を開催していくことは引き続き重要。しかしながら、部会の開催へのバーチャル会合やハイブリッド会合の導入は、予算の制約上参加が困難だった途上国の参加機会を増やすこと、パンデミックの影響が長期的にどのくらいの期間続くか見通しが立たない中でも安定的に作業を進められること、またホスト国の費用負担の軽減を図ることが可能等、多くのメリットが期待できる。コーデックスのコアバリューを重視しつつ、バーチャル会合やハイブリッド会合の活用を検討していく方針で、対処したい。

仮議題4. 手続きマニュアルの修正

各部会から今次総会に手続きマニュアルの修正に関する提案は出されていない。適宜対処したい。

仮議題5. コーデックス文書の最終採択

Part1 ステップ8の規格案と関連文書、迅速化手続きのステップ5で提出された規格案及び関連文書（ステップ5A）及びステップ6,7を省略する勧告を付してステップ5で提出された規格原案（ステップ5/8）

<アフリカ地域調整部会 (CCAFRICA) >

事項	概要	対処方針
発酵調理されたキャッサバ製品の規格案 (ステップ 8)	発酵調理されたキャッサバ製品の規格案を作成するもの。第 38 回総会 (2015 年 7 月) において新規作業承認。第 40 回総会 (2017 年 7 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 23 回 CCAFRICA (2019 年 9 月) において、総会に最終採択を諮ることに合意。表示条項は食品表示部会 (CCFL)、分析・サンプリング条項は分析・サンプリング法部会 (CCMAS) に送り承認を求める。第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。	コンセンサスに従う。
グネツム属のフレッシュリーブの規格案 (ステップ 8)	グネツム属のフレッシュリーブの規格案を作成するもの。第 38 回総会 (2015 年 7 月) において新規作業承認。第 40 回総会 (2017 年 7 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 23 回 CCAFRICA (2019 年 9 月) において、総会に最終採択を諮ることに合意。表示条項は CCFL、分析・サンプリング条項は CCMAS に送り承認を求める。第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。	コンセンサスに従う。

<生鮮果実・野菜部会 (CCFFV) >

事項	概要	対処方針
キウイフルーツ規格案 (ステップ 8)	キウイの規格を作成するもの。第 37 回総会 (2014 年 7 月) において新規作業承認。第 40 回総会 (2017 年 7 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 23 回 CCFFV (2019 年 9 月) において、総会に最終採択を諮ることに合意。表示条項は CCFL、分析・サンプリング条項は CCMAS に送り承認を求める。第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。	CCFFV で合意された案の採択を支持し

8)	<p>月)において新規作業承認。第 39 回総会 (2016 年 6 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 20 回 CCFFV (2017 年) は「quality tolerances」の規定について合意できず、ステップを進めることができなかったが、第 21 回 CCFFV (2019 年) において、総会に最終採択を諮ることに合意。EU、米国、コロンビアが留保。表示条項は食品表示部会 (CCFL) に送り承認を求める。</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	たい。
ニンニク規格案 (ステップ 8)	<p>ニンニクの規格を作成するもの。第 37 回総会 (2014 年 7 月) において新規作業承認。第 39 回総会 (2016 年 6 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 20 回 CCFFV (2017 年 10 月) は、燻製ニンニクの取扱い等について合意できず、ステップを進めることができなかったが、第 21 回 CCFFV (2019 年 10 月) において、総会に最終採択を諮ることに合意。コロンビアが留保。表示条項は CCFL に送り承認を求める。</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	CCFFV で合意された案の採択を支持したい。
ばれいしょ規格案 (ステップ 8)	<p>ばれいしょの規格を作成するもの。第 37 回総会 (2014 年 7 月) において新規作業承認。第 41 回総会 (2018 年 7 月) において予備採択 (ステップ 5)。第 21 回 CCFFV (2019 年 10 月) において「quality tolerances」等の規</p>	CCFFV で合意された案の採択を支持したい。

	<p>定に合意し、総会に最終採択を諮ることに合意。タイ、コスタリカ、パラグアイ、コロンビアが留保。表示条項は CCFL に送り承認を求める。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	
<p>ヤム規格原案（ステップ 5/8）</p>	<p>ヤムの規格を作成するもの。第 41 回総会（2018 年 7 月）において新規作業承認。第 21 回 CCFV（2019 年 10 月）で原案を最終採択を諮ることに合意。タイが留保した。表示条項は CCFL に送り承認を求める。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	<p>CCFFV で合意された原案の採択を支持したい。</p>

<食品衛生部会（CCFH）>

事項	概要	対処方針
<p>食品事業者向け食品アレルギー管理に関する実施規範案（ステップ 8）</p>	<p>食品事業者及び政府機関に対して、交差接触の防止など、食品製造におけるアレルギー管理のための実施規範を作成するもの。第 41 回総会（2018 年 7 月）において新規作業承認。第 42 回総会（2019 年 7 月）において予備採択（ステップ 5）。第 51 回 CCFH（2019 年 10 月）において、予防的アレルギー表示は FAO/WHO の科学的助言及び CCFL での作業が完了した後に改訂が必要か否か検討することとし、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最</p>	<p>CCFH で合意された案の採択を支持したい。</p>

	終採択を提言している。	
食品衛生の一般原則（CXC 1-1969）及び HACCP に関する付属文書の改訂原案（ステップ 5/8）	食品衛生の一般原則（CXC 1-1969）及び HACCP に関する付属文書の改正。第 40 回総会（2016 年 7 月）において新規作業承認。第 48 回 CCFH（2016 年 11 月）から具体的に議論してきた。第 51 回 CCFH（2019 年 10 月）において、文書の採択の遅れを避けるため、改訂原案から図 3（CCP（重要管理点）を特定するための判断樹（Decision Tree）の例）を削除し、総会に最終採択を諮ることに合意。 第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最終採択を提言している。	CCFH で合意された改訂原案の採択を支持したい。

<近東地域調整部会（CCNE）>

事項	概要	対処方針
混合ザータル（ハーブ）地域規格案（ステップ 8）	混合ザータル（ハーブ）の地域規格を作成するもの。第 36 回総会（2013 年 7 月）において新規作業承認。第 40 回総会（2017 年 7 月）において予備採択（ステップ 5）。第 23 回 CCAFRICA（2019 年 9 月）において、総会に最終採択を諮ることに合意。 第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最終採択を提言している。	コンセンサスに従う。

< 栄養・特殊用途食品部会 (CCNFSDU) >

事項	概要	対処方針
乳児用調製乳規格 (CXS 72-1981) の食品添加物条項へのキサンタンガム (INS 415) 及びペクチン (INS 440) の追記	キサンタンガム (INS 415) 及びペクチン (INS 440) について、乳児向け特殊医療用調製乳への増粘剤としての使用の技術的必要性が確認されたことを踏まえ、乳児用調製乳規格 (CXS 72-1981) に当該添加物を含める改定。第 41 回 CCNFSDU (2019 年 11 月) において、総会に採択を諮ることに合意。 第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、採択を提言している。	CCNFSDU で合意された改定案の採択を支持したい。

< 加工果実・野菜部会 (CCPFV) ¹⁾ >

事項	概要	対処方針
コチュジャン規格原案 (地域規格 (CXS 294R-2009) から国際規格への変更) (ステップ 5/8)	アジアの地域規格であるコチュジャン地域規格 (CXS 294R-2009) を国際規格に変更するもの。第 40 回総会 (2017 年 7 月) において新規作業承認。第 42 回総会 (2019 年 7 月) の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。 第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。	CCPFV で合意された原案の採択を支持したい。
チリソース規格原案 (地域規格)	アジアの地域規格であるチリソース地域規格 (CXS	CCPFV で合意された原案の採択を支持

¹⁾ Committees working by correspondence : 電子的コミュニケーションのみにより作業を行い、物理的な会合を開催しない部会。

<p>(CXS 306R-2011) から国際規格への変更) (ステップ 5/8)</p>	<p>306R-2011) を国際規格に変更するもの。第 40 回総会 (2017 年 7 月) において新規作業承認。第 42 回総会 (2019 年 7 月) の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	<p>したい。</p>
<p>マンゴーチャツネ規格 (CXS 160-1987) の改定原案 (ステップ 5/8)</p>	<p>第 40 回総会 (2017 年 7 月) において新規作業承認。第 42 回総会 (2019 年 7 月) の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	<p>CCPFV で合意された改定原案の採択を支持したい。</p>
<p>乾燥フルーツ一般規格原案 (ステップ 5/8)</p>	<p>第 40 回総会 (2017 年 7 月) において新規作業承認。規格には、乾燥フルーツに関する一般条項の他、個別の乾燥フルーツに関する規格を修正し、付属文書として含めることになった。付属文書は、既存の乾燥アプリコット規格 (CXS 130-1981)、デーツ規格 (CXS 143-1985)、レーズン規格 (CXS 67-1981) の他、干し柿及び乾燥ロンガンに関する規格を含む。42 回総会 (2019 年 7 月) の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、最</p>	<p>CCPFV で合意された原案の採択を支持したい。</p>

	終採択を提言している。	
フルーツミックス缶詰一般規格原案（ステップ 5/8）	<p>第 40 回総会（2017 年 7 月）において新規作業承認。規格にはフルーツミックス缶詰に関する一般条項の他、既存のフルーツカクテル缶詰規格（CXS 78-1981）とトロピカルフルーツサラダ缶詰規格（CXS 99-1981）を修正し、付属文書として含めることになった。42 回総会（2019 年 7 月）の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、最終採択を提言している。</p>	CCPFV で合意された原案の採択を支持したい。
ピクルス規格（CXS 115-1981）、たけのこ缶詰規格（CXS 241-2003）、ジャム・ゼリー・マーマレード規格（CXS 296-2009）の改定	<p>食品添加物部会（CCFA）からの付託事項。ピクルス規格（CXS 115-1981）、たけのこ缶詰規格（CXS 241-2003）、ジャム・ゼリー・マーマレード規格（CXS 296-2009）の食品添加物条項を改定するもの。42 回総会（2019 年 7 月）の合意事項を踏まえ、CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、採択を提言している。</p>	CCPFV で合意された改定案の採択を支持したい。
急速冷凍野菜規格（CXS 320-2015）のフレンチフライドポテトに関する付属書の改定	<p>分析・サンプリング法部会（CCMAS）からの付託事項。遊離脂肪酸（FFA）分析法と抽出法の記載削除をするための改定。42 回総会（2019 年 7 月）の合意事項を踏まえ、</p>	CCPFV で合意された改定案の採択を支持したい。

	CCPFV は working by correspondence により検討を行い、総会に最終採択を諮ることに合意。 第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、採択を提言している。	
--	--	--

<北米・南西太平洋地域調整部会（CCNASWP）>

事項	概要	対処方針
飲料用カヴァ製品の地域規格原案（ステップ 5/8）	飲料用カヴァ製品の地域規格原案を作成するもの。第 40 回総会（2017 年 7 月）において新規作業承認。第 15 回 CCNASWP（2019 年 9 月）において、原案をステップ 5 での採択を諮ることに合意したが、第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）の前に品質基準に係る事項が解決できればステップ 5/8 で最終採択を諮ることになっていた。第 79 回執行委員会は CCNASWP の報告を受けて、最終採択を提言している。食品添加物条項は CCFA、表示条項は CCFL、分析・サンプリング条項は CCMAS に送り承認を求める。	コンセンサスに従う。

PART2 総会においてステップ 8 で保留されている規格及び関連文書

<食品残留動物用医薬品部会（CCRVDF）>

事項	概要	対処方針
牛ソマトトロピン（rbST）の最大	乳分泌促進効果のある rbST の MRL 案。	JECFA による評価及び再評価の結果

<p>残留基準値 (MRL) 案 (ステップ 8)</p>	<p>第 78 回 JECFA (2013 年 11 月) の再評価の結果を踏まえて、第 22 回 CCRVDF (2015 年 4 月)、第 38 回総会 (2015 年 7 月) にて議論されたが合意に至らず、ステップ 8 で保留となった。第 39 回総会 (2016 年 7 月)、第 40 回総会 (2017 年 7 月)、第 41 回総会 (2018 年 7 月)、第 42 回総会 (2019 年 7 月) では現状を変える要求が無かったことから、再度ステップ 8 で保留となっている。</p>	<p>(適正に使用される限りにおいて、乳中の残留性が非常に低いこと等から、一日摂取許容量 (ADI) を特定する必要は無い) を踏まえて、特定の MRL 設定は不要であるとの立場で、対処したい。</p>
-------------------------------	---	---

仮議題 6. ステップ 5 でのコーデックス文書の採択

<アフリカ地域調整部会 (CCAFRICA) >

事項	概要	対処方針
<p>乾燥肉の地域規格原案 (ステップ 5)</p>	<p>乾燥肉の地域規格原案を作成するもの。第 39 回総会 (2016 年 7 月) において新規作業承認。第 23 回 CCAFRICA (2019 年 9 月) において、ステップ 5 での採択を諮ることに合意。表示条項は CCFL、分析・サンプリング条項は CCMAS に送り承認を求める。 第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、ステップ 5 での採択を提言している。</p>	<p>コンセンサスに従う。</p>

<北米・南西太平洋地域調整部会 (CCNASWP) >

事項	概要	対処方針
<p>発酵ノニ果汁飲料の地域規格原案 (ステップ 5)</p>	<p>発酵ノニ果汁飲料の地域規格原案を作成するもの。第 36 回総会 (2013 年 7 月) において新規作業承認。第 15 回</p>	<p>コンセンサスに従う。</p>

	<p>CCNASWP (2019年9月)において、ステップ5での採択を諮ることに合意。食品添加物条項はCCFA、表示条項はCCFL、分析・サンプリング条項はCCMASに送り承認を求める。</p> <p>第79回執行委員会(2020年7月)は、総会に対し、ステップ5での採択を提言している。</p>	
--	--	--

<食品衛生部会 (CCFH) >

事項	概要	対処方針
微生物による食品に起因する緊急事態/アウトブレイクの管理のガイダンス文書原案(ステップ5)	<p>微生物による食品に起因する緊急事態/アウトブレイクを管理するため、政府当局向けのガイダンス文書を作成するもの。第41回総会(2018年7月)において新規作業承認。第51回CCFH(2019年11月)において、ステップ5での採択を諮ることに合意。</p> <p>第79回執行委員会(2020年7月)は、総会に対し、ステップ5での採択を提言している。</p>	CCFHで合意された原案のステップ5での採択を支持したい。

<栄養・特殊用途食品部会 (CCNFSDU) >

事項	概要	対処方針
フォローアップフォーミュラ規格(CXS 156-1987)の見直し:セクションB(年少幼児):範囲、定義、表示原案(ステップ5)	<p>フォローアップフォーミュラ規格(CXS 156-1987)の見直しは、第36回総会(2013年7月)において新規作業承認。セクションB(年少幼児向け製品)の適用範囲、定義及び表示に関する事項について、第41回CCNFSDU</p>	CCNFSDUで合意された原案のステップ5での採択を支持したい。

	<p>(2019年11月)においてステップ5での採択を諮ることに合意。米国は定義の脚注について留保。表示条項はCCFLに送り承認を求める。</p> <p>第79回執行委員会(2020年7月)は、総会に対し、ステップ5での採択を提言している。</p>	
Ready-to-use Therapeutic Foods ガイドライン原案(ステップ5)	<p>急性栄養不良児のための Ready-to-use 食品に関するガイドラインを作成するもの。第39回総会(2016年7月)において新規作業承認。第41回CCNFSDU(2019年11月)において予備採択を諮ることに合意。食品添加物条項はCCFAへ、表示条項はCCFLに送り承認を求める。</p> <p>第79回執行委員会(2020年7月)は、総会に対し、ステップ5での採択を提言している。</p>	CCNFSDUで合意された原案のステップ5での採択を支持したい。

<薬剤耐性に関する特別部会(TFAMR)>

事項	概要	対処方針
「薬剤耐性(AMR)の最小化及び抑制のための実施規範(CXC 61-2005)」の改定原案(ステップ5)	<p>第39回総会(2016年7月)において、「AMRの最小化及び抑制のための実施規範(CXC 61-2005)」の改定とAMRの統合的なサーベイランスに関する指針作成のため、TFAMRの再設置に合意。第40回総会(2017年7月)において新規作業承認。第7回TFAMR(2019年12月)において、ステップ5での採択を諮ることに合意。第79回執行委員会(2020年7月)は、総会に対し、ステップ5での採択を、第8回TFAMRに対し、作</p>	TFAMRで合意された原案のステップ5での採択を支持したい。

	業完了期限の観点から、まだ深く議論を行っていない論 点に焦点をあて、できるだけ議論のリオープンを避ける よう提言している。	
--	---	--

仮議題 7. 既存のコーデックス文書の廃止

<アジア地域調整部会 (CCASIA) >

事項	概要	対処方針
食品添加物条項の廃止（発酵大豆 ペースト規格（CXS 298R-2009） 及びチリソース規格（CXS 306R- 2011）から酒石酸塩の食品添加物 条項を削除）	酒石酸塩の食品添加物の同一性及び純度に関する規格が ないことから、発酵大豆ペーストの地域規格（CXS 298R- 2009）及びチリソースの地域規格（CXS 306R-2011）か ら酒石酸塩の食品添加物条項を削除するもの。食品添加 物部会（CCFA）からの付託事項として第 21 回 CCASIA （2019 年 9 月）において検討し、合意。	廃止することを支持したい。

<加工果実・野菜部会 (CCPFV) ²>

事項	概要	対処方針
コチュジャン地域規格（CXS 294R-2009）	国際規格への変更に伴い、コチュジャン地域規格（CXS 294R-2009）を廃止するもの。	仮議題 5.において、コチュジャン規格原 案が最終採択された場合、廃止するこ とを支持したい。
チリソース地域規格（CXS 306R- 2011）	国際規格への変更に伴い、チリソース地域規格（CXS 306R-2011）を廃止するもの。	仮議題 5.において、チリソース規格原 案が最終採択された場合、廃止するこ とを

² Committees working by correspondence：電子的コミュニケーションのみにより作業を行い、物理的な会合を開催しない部会。

		支持したい。
乾燥アプリコット規格 (CXS 130-1981)、デーツ規格 (CXS 143-1985)、レーズン規格 (CXS 67-1981)	乾燥フルーツ一般規格の採択に伴い、既存の乾燥フルーツ規格を廃止するもの。	仮議題 5.において、乾燥フルーツ一般規格原案が最終採択された場合、廃止することを支持したい。
フルーツカクテル缶詰規格 (CXS 78-1981)、トロピカルフルーツサラダ缶詰規格 (CXS 99-1981)	フルーツミックス缶詰一般規格の採択に伴い、既存のフルーツ缶詰規格を廃止するもの。	仮議題 5.において、フルーツミックス缶詰一般規格原案が最終採択された場合、廃止することを支持したい。

仮議題 8. 新規作業の提案

<アフリカ地域調整部会 (CCAFRICA) >

事項	概要	対処方針
アフリカ地域における調和された食品に関する法令の作成をサポートするためのガイドライン策定	第 23 回 CCAFRICA (2019 年 9 月) において、アフリカ地域メンバー国における食品及び食品管理に関連する国内法制度の作成や見直しをサポートするガイドラインの策定作業を開始することに合意。(ケニアの提案) 第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、承認を提言している。	コンセンサスに従う。

<アジア地域調整部会 (CCASIA) >

事項	概要	対処方針
バチルス属 (<i>Bacillus species</i>)	第 21 回 CCASIA (2019 年 9 月) において、バチルス属	新規作業として承認することを支持し

<p>を使って発酵させた大豆製品の地域規格策定</p>	<p>(<i>Bacillus species</i>) を使って発酵させた大豆製品の地域規格策定作業を開始することに合意。(日本の提案)</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、承認を提言している。</p>	<p>たい。</p>
<p>急速冷凍餃子の地域規格策定</p>	<p>第 21 回 CCASIA (2019 年 9 月) において、急速冷凍餃子の地域規格策定作業を開始することに合意。(中国の提案)</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し承認を、CCASIA に対し、製品の定義をより具体的にし、地域内で貿易されている製品を対象とした地域規格にすべき旨提言している。</p>	<p>新規作業として承認することを支持したい。</p>
<p>植物の葉で包んだ調理米 (cooked rice wrapped in plant leaves) の地域規格策定</p>	<p>第 21 回 CCASIA (2019 年 9 月) において、植物の葉で包んだ調理米 (cooked rice wrapped in plant leaves) の地域規格策定作業を開始することに合意。(中国の提案)</p> <p>第 79 回執行委員会 (2020 年 7 月) は、総会に対し、承認を提言している。</p>	<p>新規作業として承認することを支持したい。</p>

<食品衛生部会 (CCFH) >

事項	概要	対処方針
<p>食品生産における安全な水の使用のガイドライン策定</p>	<p>第 51 回 CCFH (2019 年 11 月) において、食料の生産と加工の段階における安全な水の使用のためのガイドライン策定作業を開始することに合意。生物学的ハザードの</p>	<p>新規作業として承認することを支持したい。</p>

	<p>みを対象。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、承認を提言している。</p>	
--	---	--

<近東地域調整部会（CCNE）>

事項	概要	対処方針
マアムールの地域規格策定	<p>第 10 回 CCNE（2019 年 11 月）において、マアムール（菓子）の地域規格策定を開始することに合意。（サウジアラビアの提案）</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、承認を提言している。</p>	コンセンサスに従う。

<魚類・水産製品部会（CCFFP）>

事項	概要	対処方針
イワシ缶詰規格（CXS 94-1981）の修正：対象の種のリスト（2.1 Product Definition）への <i>Sardinella lemuru</i> （Bali Sardinella）の追記	<p>フィリピンによる新規作業提案。CCFFP が休会中のため、総会に直接提出されている。イワシ缶詰規格（CXS 94-1981）の対象の種のリスト（2.1 Product Definition）に <i>Sardinella lemuru</i>（Bali Sardinella）を追記するもの。本作業は、新しい種の追加に関する手続きマニュアルの記載に従って、CCFFP を再開して検討する必要。</p> <p>第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、CCFFP の working by correspondence で再開し、本作</p>	新規作業として承認することを支持したい。作業は CCFFP を working by correspondence で行うことを支持したい。

	業の検討を行うことを提言している。	
--	-------------------	--

<残留農薬部会（CCPR）>

事項	概要	対処方針
2021年のFAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）に評価を依頼する農薬優先リスト	2021年に予定されているJMPRにおいて評価（新規評価、定期的再評価、既存農薬における特定の食品のMRLの設定のための評価）を行うべき農薬の優先リスト及びスケジュール案。通常はCCPRから新規作業として総会に提出されるが、本年4月に開催が予定されていた第52回CCPRが来年に延期になったため、第43回総会に直接提出されている。 第79回執行委員会（2020年7月）は、総会に対し承認を、またFAO・WHOに対し、科学的助言の作業を進めるためにバーチャルの手法の活用を促すよう、提言している。	新規作業として承認することを支持したい。

仮議題9. 作業の中止

<近東地域調整部会（CCNE）>

事項	概要	対処方針
ラブネの地域規格原案	第36回総会（2013年7月）において承認された作業。 第8回CCNE（2015年6月）以降ステップ4に保留。第10回CCNE（2019年11月）において、作業中止に合意。	コンセンサスに従う。

	第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、作業中止を提言している。	
--	---	--

< 栄養・特殊用途食品部会（CCNFSDU） >

事項	概要	対処方針
トランス脂肪酸（TFA）フリー表示の要件	第 41 回 CCFL（2013 年 5 月）からの要請を受けて検討していた作業。第 41 回 CCNFSDU（2019 年 11 月）において、作業中止に合意。また CCFL へ送り作業中止を伝える。 第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、作業中止を提言している。	作業の中止を支持したい。
バイオフィューチャーの定義	第 38 回総会（2015 年 7 月）において承認された作業。第 45 回 CCFL（2019 年 5 月）の見解（既存のコーデックス文書は十分にバイオフィューチャーの表示をカバーしており、新たな定義は不要）を受けて、第 41 回 CCNFSDU（2019 年 11 月）において、作業中止に合意。 第 79 回執行委員会（2020 年 7 月）は、総会に対し、作業中止を提言している。	作業の中止を支持したい。

仮議題 10. コーデックス規格と関連文書の修正

<アフリカ地域調整部会 (CCAFRICA) >

事項	概要	対処方針
シアバター地域規格 (CXS 325R-2017) の修正 (第 23 回 CCAFRICA (2019 年 9 月) からの修正案)	第 23 回 CCAFRICA (2019 年) において、シアバター地域規格 (CXS 325R-2017) について、セクション 3.2.2 (品質基準) の表 1 (品質基準) の記述の修正を行うこと、またセクション 3.4 (脂肪酸組成) に関し、規定されているリノレン酸のレベルを、入手可能なデータに基づき「1-11 %」ではなく「<1 %」に修正することに合意。	コンセンサスに従う。

仮議題 1 1. コーデックス部会から総会への付託事項

<欧州地域調整部会 (CCEURO) >

事項	概要	対処方針
CCEURO における言語ポリシー	<p>第 31 回 CCEURO (2019 年 10 月) における合意事項 (下記) について、検討される予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CCEURO にロシア語圏のメンバーが加盟したことに伴い、ロシア語を CCEURO の公式言語として追加する。 ・ CCEURO は 4 言語 (英語、フランス語、スペイン語、ロシア語) で作業し、翻訳費用は全てコーデックス事務局負担とする。この提案が総会で合意される場合、事務局は追加コストに持続的に対応する方法を提案する。 	コーデックスの活動が効率的かつ継続的に行われることを確保する観点から情報収集に努め、対処したい。

<穀物・豆類部会（CCCPL）³>

事項	概要	対処方針
キヌア規格（CXS 333-2019）の粒度に関するセクション	第 42 回総会（2019 年）の合意事項を受けて、working by correspondence によりセクション 3.2.7（粒度の条項）の検討を継続したが、コンセンサスが得られなかったため、削除が提案されている。	第 42 回総会の合意事項であり、削除を支持したい。
CCCPL のステータス（休会）	第 38 回総会（2015 年）において、CCCPL は作業をキヌア規格の策定に限定した上で再開し、作業終了後に休会することに合意している。今回 CCCPL の作業完了に伴い、休会が検討される。	第 38 回総会の合意事項であり、休会を支持したい。

仮議題 1 2. コーデックスの財政及び予算に関する事項

概要	対処方針
資料未着。2018-19 年の報告、2020-2021 年の進捗及び 2022-2023 年の提案が行われる予定。	COVID-19 の感染拡大により本年の部会の開催は全て延期となっているが、今後もバーチャル会合等を可能な範囲で活用し、コーデックスの活動及び FAO/WHO の科学的助言に関する活動が効率的かつ継続的に行われることを確保する観点から情報収集に努め、対処したい。

³ Committees working by correspondence : 電子的コミュニケーションのみにより作業を行い、物理的な会合を開催しない部会。

仮議題 13. 地域調整国の任命

概要	対処方針
<p>次期地域調整国（任期：1期2年、再選可）の任命が行われる。アジア地域は、現地域調整国のインドの任期が第43回総会までであり、第21回 CCASIA（2019年9月）で中国が指名されている。中国の任期は第43回総会後から、次回地域調整部会後の総会まで（1回再選可）。北米・南西太平洋地域、近東地域、ラテンアメリカ・カリブ海地域、ヨーロッパ地域は、次期地域調整国としてそれぞれの地域調整部会でフィジー、サウジアラビア、エクアドル、カザフスタンが指名されている（カザフスタンは2期目）。</p> <p>アフリカ地域は、次期地域調整国の候補国が決まっていないことから、例外的に現地域調整国のケニアの任期が第44回総会まで1年延長される予定。</p>	<p>次期アジア地域調整国については、第21回 CCASIA で指名された中国が任命されるよう対処したい。</p>

仮議題 14. コーデックス部会の議長を指名する国の指定

概要	対処方針
<p>各部会について、それぞれの議長を指名する権限を有する国を確認するもの。また、第79回執行委員会（2020年7月）から CCPFV 及び CCCPL については休会が、CCFFP は working by correspondence での再開が提言されている。</p>	<p>現在の議長を指名する権限を有する国を支持することとしたい。また、CCPFV 及び CCCPL の休会、CCFFP の working by correspondence での再開については、第79回執行委員会の提言を支持したい。</p>

仮議題 15. その他の作業

適宜対応したい。

仮議題 16. 報告書の採択

議論の内容を反映した適切な報告書となるよう対応したい。